

第3次所沢市子どもの読書活動推進計画

～すべての子どもに読書の楽しみを～



平成31年 3月

所 沢 市

所沢市教育大綱

所沢市は真に子どもを大切にするマチとなろう。

大切にすることは、子どもを信じることだ。

なで回すことじゃない。奥にしまい込むことでもない。

烈風の中に置かれても、耐えて逞しく、時に凌いで、
みずからの生を謳歌せんとする子ども自身の力を信じることだ。

それには愛情の裏づけがなくてはならない。覚悟がなくてはならない。

命を尊ぶ誓いがなくてはならない。豊かな自然がなくてはならない。

子どもたちが堂々と社会に躍り出ていくその日まで、
大人は目をそらさずに、絆を深めながら、子どもたちとともに歩んでいこう。

《目指す四つのこと》

一、価値の提示

生きる指針ともなる大切な価値を伝えていく。

一、心身の鍛練

人と自然の中で、心と体を鍛える。

一、基礎学力の養成

学力の基礎基本は、これを全員が身につけられるよう支援する。

一、経験の蓄積

生きた経験を通して、自分に自信を持ち、人の素晴らしさを知る。

ふるさとの宝である子どもたちのために、所沢市は全力を傾注して施策を展開する。

平成30年4月

所沢市長

藤本正人

大綱の策定については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3第1項で「地方公共団体の長は、地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるもの」とされています。

所沢市では、所沢市総合教育会議での協議の結果を受けて「所沢市教育大綱」を策定しました。

ふるさとの宝である

子どもたちのために

～第3次所沢市子どもの読書活動

推進計画の策定にあたって～



所沢市教育大綱にあるように、所沢市は真に子どもを大切にするマチを目指しています。

子どもにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするとともに考える力を育むものであり、強く逞しく生きる力を身につける原動力にもなります。

周囲の大人が子どもの読書活動の意義を理解し、家族で本を読むことなどを通じて絆を深め、ときに支えながら進めていくことが重要となります。

子どもの読書活動の推進につきましては、平成21年3月に「所沢市子どもの読書活動推進計画」を、平成26年3月には第2次計画を策定し、小中学校で授業の開始前に本を読む取り組みである“朝読書”や、図書館、公民館、児童館等における“おはなし会”等、さまざまな施策を進めてまいりました。

このたび、1次・2次計画の基本方針を引き継ぎながら、これまでの成果と課題を踏まえて見直しを図り、ここに「第3次所沢市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

本市のすべての子どもが読書の楽しみを知り、あらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、本計画に沿って取り組んでまいりますので、市民の皆様ならびに関係諸機関の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、子どもの読書アンケートやパブリックコメント等を通じて貴重なご意見・ご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、ご協力いただきました多くの方々にお礼を申し上げます。

平成31年3月

所沢市長 藤本 正人

目 次

第 1 章 はじめに

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の対象	2
3	国・県の動向	3
4	計画の位置づけ	4
5	計画の期間	4

第 2 章 第 2 次計画期間における成果と課題

1	第 2 次計画期間における取り組み・成果	5
2	第 2 次計画成果目標達成状況	10
3	第 2 次計画期間における課題	17

第 3 章 第 3 次計画の基本的な考え方

1	基本理念	19
2	基本方針	20
3	計画の体系	21

第 4 章 計画の実現に向けた取り組み

1	家庭・地域での推進	22
2	保育園・幼稚園での推進	26
3	学校での推進	27
4	図書館での推進	30

第 5 章 評価指標および数値目標

36

第6章 計画の実現に向けて

1 計画の推進体系	38
2 計画の進行管理	38

【資料編】

○ 子どもの読書活動の推進に関する法律 (平成13年12月12日法律第154号)	40
○ 第2次計画期間における取組・成果・課題一覧	42
○ 子どもの読書アンケート調査結果(平成26年度~平成30年度)	70
○ 計画策定経過	84
○ 所沢市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱	85
○ 所沢市子どもの読書活動推進計画策定委員会委員名簿	87